

スマホ育児、 やっぱりダメですか？



お菓子を与える・映像を見せる・ゲームをさせる。
子どもを静かにさせるには、この3つが効くといわれています。
どこでも手軽に使える「映像を見せる」について質問が寄せられました。

Q 3歳の息子がスマホでYouTubeを見たがりです。「スマホ育児には害がある」という話を聞いたことがあり、どうすべきか悩んでいます。

A YouTubeはダラダラと見せるのであれば、子どもが言葉や社会性を身につけることを助けるツールになります。幼児期は、映像を見る時間を1日2時間以内にとってください。言葉の基本は親子の会話で身につけながら、YouTubeを活用して言語能力を身につけるといいでしょう。

見すぎによる、 親子の会話不足に注意

電車に乗っている親子のうち半数以上が、親または子どもがスマホを見ていることがわかっています。そのような親子には全く会話がなないか、極端に少ない傾向にあります。このようにスマホによって親子の会話が少なくなると、言葉の発達に問題が出てくる心配があります。

ストーリー性のある映像で 読解力UP

ストーリー性のある映像を観ることは、国語の読解力の基礎となる「映像読解力」の習得に有効です。「どうして怒っているのか」「き」と喜ぶぞ」というように登場人物の気持ちを理解して、次の展開を予想できるようになります。さらに、新しい言葉を覚え、間接的に未知の体験ができます。

大切なのは一緒に見た映像について、親子で話をすることです。これによって映像の理解が進み、パパやママが映像を見てどう考えたのかを子どもが感じ取ることが出来ます。つまりは、価値観の理解にも繋がるのです。

(※1) 3歳未満の子どもの親。

筑波大学医学医療系教授、教育学博士、臨床心理士。専門は子ども支援学、子育て支援学、気になる子どもの保育。アジア子ども支援学会会長、イオン1パーセントクラブ理事。「筑波大学発ベンチャー子ども支援研究所」の所長として、幼稚園や保育園の先生たちのコンサルタントとしても活躍。年間100件以上の講演を各地でおこない、育児に悩む方からの相談に応じている。著書に「親を惑わす専門家の言葉」、「お母さんがうなずいた数だけ子どもは伸びる」、「育児の教科書「クレヨンしんちゃん」」など。



徳田克己 先生



徳田先生監修「子育て・育児支援サイト」もチェック!

子育てに役立つ情報が盛りだくさん。
パソコンやスマートフォンで気軽にご覧いただけます。

パソコン・スマホでアクセス!! ▶

キッズハグ

検索

<http://kidshug.jp>

